



Iris

発行日
令和7年4月24日

新潟市立鳥屋野小学校 あいらす



文責 校長 本間 浩之

心をひとつに

満開の桜の中、期待に胸をふくらませた1年生149名が当校に入学をしました。学校便りのタイトル「あいらす」の花言葉のとおり、「希望」に満ちた新年度のスタートです。

令和7年度の子どもの在籍数は976名となり、昨年度に引き続き県内最大規模の学校となりました。子どもの数が多い分、輝く個性もさまざまですが、ひとたび同じ目標に向かって心がひとつになった時の力や感動は計り知れません。「かしこく やさしく たくましく」の学校目標に向って、子どもたちにとってさらなる飛躍の1年となるよう、当校では次の資質・能力の育成を目指します。

追求する力



すすんで チャレンジ
フィン君

【目指す子ども像】

「知りたいこと」、「やりたいこと」に、友だちと関わりあってチャレンジする子ども

認め合う力



みんな なかよし
シャインちゃん

【目指す子ども像】

一人一人の違いや苦手を認め合いみんなで輝く子ども

自律する力



自分で みんなで
ファイトさん

【目指す子ども像】

自分で、またはみんなで決めためあてに向って、最後までやり抜く子ども

以上の資質・能力を子どもたちに付けていくために、授業や学校行事等を通じて、全職員で取り組んでまいります(具体的な重点取組は学校教育ビジョンをご覧ください)。

また、子どもも職員も心をひとつにするために、大規模校の強みを活かした学校基盤を次のように整えます。

○当校で目指す3つの力(資質・能力)を教科や学校行事を通じて子どもに育みます

「追求する力」、「認め合う力」、「自律する力」。昨年度の当校の子どもの実態から必要と考えたこの力を、授業だけでなく、学校行事等とおして育みます。また、職員も子どももこの力の育成を意識できるように(ベクトルをそろえるために)児童会キャラクターと連携したり、取組の評価や自己の成長を確認できるように振り返りの場を設定したりします。

○引き続き教科担任制を導入(主に3年生以上)し、より多面的に子どものよさを引き出します

当校では大規模校の強みを生かし、特に3年生以上で教科担任制を導入します。1人の子どもをよりたくさんの教師で見守り、多面的に支援することができるようになります。

職員一同、今年度も「だれにとっても居心地のいい学校」を目指して努めてまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様、そして日頃より大変お世話になっている学校ボランティアの皆様からのお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。